

平成29年度 町政懇談会 上段地区

I. 日時・場所等

1. 開催日時 平成29年7月7日(金) 午後7時～午後8時30分
2. 開催場所 上東地域活性化センター
3. 出席者 立山町 舟橋町長、朝倉副町長、大岩教育長、山元総務課長、
青木教育課長、小野商工観光課長、山本水道課長、
舟橋農林課長、竹島建設課長
地元議員 伊東幸一議長、石田孝夫議員
上段地区振興会 小澤博振興会長
企画政策課 清水課長、寺崎課長補佐、大崎主任、佐伯主事、大前主事
4. 参加者数 46名

II. 実施内容

1. 挨拶

- ①司会 清水企画政策課長(以下、司会) 開会
- ②舟橋町長(以下、町長) 開会挨拶
- ③司会 出席者紹介

2. 懇談会

- (1)・立山町公共施設等マネジメント計画について 企画政策課長
・富山連携中枢都市圏について 企画政策課長
- (2) 下水道整備事業について 水道課長
- (3) 地区からの協議事項

◎ 新瀬戸地区の活性化について

【清水企画政策課長】

現在、新瀬戸地区の方で活性化協議会を立ち上げておられまして、協議会を中心に様々な事業に取り組んでおられます。町でも地方創生推進交付金で企業経営の専門家に入ってもらい、相談や活動支援させていただいております。現在、新瀬戸小学校のランチルームを改修しており、8月には明治大学の競走部、9月4日からは早稲田大学の競走部、それから跡見学園女子大学の学生さんが来て、活性化に協力いただいております。地元の皆様方にも協議会の中に入っていただきまして、いろいろな議論をしながら地域の意向をお聞かせいただいた上で、尊重しながら進めていきたいと思っております。窯元や池田浄瑠璃などの資源については、広報たてやまやケーブルテレビなどで随時ご紹介しておりまして、これからも内外に紹介していきたいと考えております。

◎ 各地区紹介VTRを放映するモニター設置について

【小野商工観光課長】

元氣交流ステーションみらいぶの中で、観光客が地区を選択することで各地区の紹介VTRを流すモニターを設置してはどうかと伺っております。現在、みらいぶの出入り口付近と2階にモニターがございますが、そのようなシステムには対応しておりません。VTRは流すことができるということでもあります。それよりもよく駅に設置してあるような地図上に各地区のボタンがあり、押すとVTRが見られるパネルのようなものを設置できないか、また最近ではデジタルサイネージとあって、大きなテレビ画面をタッチすると、画面が変わっていくようなシステムも普及しております。例えば宝くじの助成金で100%全額補助の財源がありますが、こういった設置が活用できないか、今後調査研究していきたいと考えております。

◎ 中部山岳自然歩道の案内板の整備について

【小野商工観光課長】

まずこの看板、誰が設置したか確認をしました。富山県が平成10年に環境省の交付金を活用して、中部北陸自然歩道として整備した際に看板を設置したと県から聞いております。この看板は設置されてから20年が経過しており、私も現地確認しましたところ表示板の痛みがひどく、書かれている文字が非常に不鮮明な状態です。近くこの要望内容を、富山県をはじめ関係機関にお伝えしたいと思っております。

次に上段地区から吉峰へ向かう途中の分岐点にあるグリーンパーク吉峰への案内表示がありますが、元々この分岐点から吉峰への方向が分かりづらいという声を受けて、グリーンパーク吉峰が設置したと伺っております。これもだいぶ年数が経過しておりまして、こちらの方も表示板の痛みが非常にひどく、書かれている文字が不鮮明な状態です。そこで施設の指定管理者であります、株式会社たてやまに相談をしたところ、分かりやすい案内表示板への取り換えを行うと伺っております。

◎ 上宮地内のマンホール周りの舗装について

【山本水道課長】

上宮地内の県道舗装について現地を確認したところ、ご指摘の通り下水道マンホール周り4か所と消火栓周り1か所が損傷しておりましたので、本日修繕いたしました。

◎ 小林地内の道路の舗装工事が半分未完成であることについて

【竹島建設課長】

現地を確認しましたところ、町道新瀬戸小林線の路面にひび割れ等が多く見受けられております。町ではこれまで、通行に支障をきたすような穴や舗装がめくれた箇所については、緊急性を要する損傷として随時舗装補修を行ってきております。しかしながら、ご要望の残り半分、全面改修がなされていないことにつきましては、町内にも同様の舗装補修の要望があることから、一気にやることができません。進捗状況を見ながら当地区におきましては、痛みの著しいところから実施したいと考えておりますのでもうしばらくお待ちいただければと思っております。

◎ 瀬戸新中林地内の農道の舗装について

【舟橋農林課長】

瀬戸新中林地内の農道の舗装の件ですが、事前の要望書の中になかったため、今回現場の確認はしておりません。一般的には、農道は町土地改良区の管理のものでございます。

農道を舗装する方法は、町土地改良区に要望書を出していただき、県単事業でやる方法がございます。一度こちらの方で現場を確認して、町土地改良区と協議し、後日文書で回答させていただきたいと思っております。

◎ 樹木の伐採、のり面の補修について

【竹島建設課長】

1か所目が小林から上金剛寺の坂道脇の樹木伐採ということで、ご要望の箇所は町道下段上宮線になります。この路線は町で定期的に道路パトロールをしており、沿道の樹木類が道路に飛び出てきて視界にかかるような、道路の交通に支障があると認められた場合には、せん定や伐採等を行っており、今後とも引き続き行っていきたいと思っております。

瀬戸新中林から米道間の坂道の樹木伐採、のり面の整備等につきまして、該当箇所は県道寺坪上市線でございます。管理は県の立山土木事務所であり、樹木の伐採についてはあらかじめ聞いておりましたが、立山土木事務所からは道路・路肩にはみ出した枝葉や草については、現地確認の上、伐採を実施しているとのことでした。先ほどから話にありましたように、一昨日に九州北部を襲った記録的豪雨を目の当たりにすると、大変不安に思われると思っております。崖崩れが発生する恐れがあるということで、立山土木事務所には、のり面等の安全対策も含めた整備について、まずは現地を確認していただき、必要な対策が講じられるよう県に要望していきたく思います。

◎ 鳥獣被害について

【舟橋農林課長】

カラスの一斉捕獲を、苗の踏み荒らし被害が予想される時期である5月20日、6月30日の2回実施しました。また毎年芦見地内に捕獲檻を設置し、一定数の約50羽を捕獲しています。カラスの対策については、一過性ではありますが、カラスの嫌がる道具として黒色の糸を張ることや目玉のある風船の設置が有効であると聞いています。

養豚・養鶏場の出入りの強化については、毎年町・県・および関係機関による巡回を年1回以上行っており、事業者の立会いの下、臭気の測定やたい肥の適切な管理状況などを調査し、指導を行っています。牛糞・鶏糞の肥料の散布については、完熟したたい肥を撒き、すぐに起こしていただくよう指導しています。

いのしし・猿の被害防止の電気柵、通年型防護柵を検討してほしいということにつきましては、今年度東谷地内において山際に耐雪型防護柵約700mを設置し、実証実験を予定しています。その結果が良好であれば国へ防護柵の要望をしたいと考えています。

◎ 小学校統廃合について

【青木教育課長】

教育委員会では、今後の教育環境の在り方と適正配置について審議するため、立山町立小学校適正配置検討審議会を立ち上げて、平成 25 年度末に子どもたちにとってより良い教育環境はどうあるべきかを大前提とした、立山町立小学校の適正規模・適正配置に関する答申がありました。適正規模のポイントは、1 学級の最小規模を 20 人程度とすることです。そして適正配置のポイントは、地理的なつながりや町全体のバランスを重視することです。学校の適正化を進めるに当たり、保護者や地域の皆様の理解が得られるよう十分に話し合いながら進めることとしています。学校統合の具体的な枠組みと目標年度につきましては、短期的な取組として複式学級が存在する学校を統合して、全ての学校を単式学級とすることとしております。長期的な取組として、少子化の進行を見据え、平成 30 年度に再度小学校適正配置検討審議会を開催します。全区域の保護者が同じ目線で学校統合について話し合えるという目標もしっかりと検討して、平成 35 年度までの子どもの実数を把握した上で、学校統合の枠組みを決定することとしております。

◎ 日中間坂用水の復旧工事について

【舟橋農林課長】

5 月 1 日に立山町土地改良区から連絡を受けて災害現場を確認しており、数回にわたり関係者と現地で協議をしています。災害が発生したと思われる時期には、農地災害として認定を受けることができる気象条件を満たしていないため、国の補助を受けての復旧はできません。白岩川は県管理の二級河川のため、復旧するためには県の許可を受けて河川区域内に工作物を設置する必要があり、立山土木事務所と協議をしていますが、今のところ困難な状況であります。

5 月 12 日、県から提案された以前使用していた取水口の土砂を撤去し、復旧して使用することもひとつの方策と考えています。現在、集落内の用水路を迂回して対応されていると聞いていますが、今後どのような改修方法が適切なのか検討していきます。なお、白岩川の護岸工事が完了しなければ、復旧は難しいものと考えます。

(3) 質疑・応答

◎ 小林の方から上金剛寺の木の枝の伐採の件で、昨年 4 月と 5 月の頭に大きな風が 2 回あり、木が一本倒れました。かなり経ちましてそろそろ危ないのではないかと思いますので一度現場を確認されて判断してほしい。

【竹島建設課長】

何度か過去に倒れたという事実から、現場の方をじっくり見るように努めたいと思います。

◎ 日中上野小学校の統廃合問題について、町の方針がはっきりしない。町の方針を早急に決めていただきたい。

【大岩教育長】

教育委員会としましても、保護者のお気持ちを十分理解したうえで仕事を進めていくというのが大前提であり、そのつもりでやってきた。しかしなかなか合意点が見つからず、

日中上野が残り、大変私たちの力不足があったということを反省しております。大きい学校、小さい学校それぞれメリットデメリットがありまして、一概には小さいから駄目だとか大きいからいいとは言えないことは、話し合いの中で常に言ってきたつもりです。ただ、子どもたちがいる程度の人数がいると、そこで切磋琢磨するということが大事なんじゃないかなと私たちは主張してきたつもりなのです。でも、やはり学校を愛する地域の方々の思いもあり、思うようにはいかなかったとっております。そこには私たちの進め方の問題もあったと、反省しております。今お聞きしたように、個人個人では皆さんいろいろな考えを持っていらっしゃる。話し合いを進めるにしましても、来年度はもう一回適正配置を立ち上げると言っておりますが、そんなことよりももっと早く考えてほしいというご意見だったと思います。ひとつのやり方としては個人個人の思いを地域としてひとつにまとめた形で出していただくと、私たちはそれに対してしっかりと対応していくということは可能だと思っております。お気持ちは十分わかっておりますので、私たちもこの後十分検討していきたいと思っております。

- ◎ 先ほど話しました崩れたところは一応山林になっていまして、登記簿上の住所がある。多分そこまで崩壊している。このままいくとどんどん崩れが進んでいく。先ほどの回答では、土木の護岸工事が進まない限りは用水の開通は無理とおっしゃるのですが、そういう登記に残っているところがどんどん崩壊している現状は、何とかしてほしい。

【舟橋農林課長】

県が9月補正で測量設計を計上すると聞いております。おそらくこのまま放置しておけば、区長さんが言われたようにどんどん悪くなっていくのは目に見えておりますので、県としても対応策を検討しています。その上で、我々も協力できるところは協力しながら改修方法を考えていきたいです。

- ◎ 小学校の問題について、来年の新生がうちの子供だけなのですけれども、もし日中上野小学校に行かなかつたら1学年穴が空くと思うのですが、それでも学校は存続するのかわりかお聞きしたい。

【大岩教育長】

大変深刻な問題なのですが学年がなくても存続はします。例えば、上東中学校にはかつてなくなった学年があったと思うのですが、存続しました。上市の白萩西部小学校も、いない学年があります。存続はします。ただし、それですむわけじゃないので、検討してこの話を進めていきたいと思っております。

- ◎ 地域の高齢者で運転免許証を返納される方がいらっしゃるのですが、お出かけバスが村の中を走ってくれてありがたいのだが、駅前までしか行かない。高齢者の方というのは病院・医者に行ったり、農家なのでコメリさんに苗を買いに行ったりしたいのですが駅前から一生懸命歩かなければいけない。駅前まで時間まで待機して止まっていますので、5分か10分位で、町内循環というか、もうちょっと利便性があるって本当にお出かけバスになるようなものを考えていただければいいかな、ダイヤの組み方とか工夫があると思うがいかが

でしょうか。

【町長】

昨日、大森地区でもバスの問題が出ました。あと10年もすれば、もっと運転できない人が増えてくるので大森といえどもこれから大変厳しくなると、どう考えているのかという話がありました。ナビオバスをけっこう利用している方がおられます。ナビオさんが本当に頼りなのだと言っておられます。ナビオさんのバスはサービスでやっておられますから、実はどこを走っても富山運輸支局の許可なしにやることができます。しかし、立山町の場合は行政機関のもので、そういった会議を設定して最終的に認可をもらって運行しているので、今日言われて明日っていうのはできません。だからこそナビオさんのバスを利用されている方が多いのですが、ここから昨日話した話です。あの時はユニーさんやナビオさん2つの店舗、あとむらいスーパーさんもありましたけど、最近ではどンドンスーパーが出てきて昔に比べればナビオさんにとまっている車の台数を見る限り大変厳しいだろうと。もしナビオさんがナビオバスをやらなくなった時には、大変なことが起きるだろうと思って私自身心配しています。その時のために、対応策を早急に用意しないと、買い物難民、そしてお医者さん難民が増えてしまいます。町にとっての最重要課題と考えておりますので、なるべく早く対応策を自分なりに作ってそれをみなさんに提示したいと考えております。今ほど駅前まで行くバスの利便性について逆に路線を工夫すればできることもあるかもしれませんので、今日金曜日ですから月曜日に、住民課長にこの話を伝え、対応策が分かればまた振興会長にお知らせしたいと思います。

3. 閉会の挨拶

小澤博振興会長

伊東幸一議長

石田孝夫議員

閉会